



2019-20  
国際ロータリーテーマ



ロータリーは  
世界をつなぐ  
Rotary  
マーク・ダニエル・  
マローニー



2019～2020年度 標語  
さあ! チャレンジしよう 大胆に

諫早西ロータリークラブ  
会長 木村 暢義



第1660例会 2020年 6 月 10 日例会記録

NO.35 天候 晴れ

【本 日】会員数 46名 出席 42名 欠席 3名 免除 1名 (出席 0名) 出席率 93.34%  
【6/3】会員数 46名 出席 45名 欠席 0名 (MU 4名) 免除 1名 出席率 100.00%

#### ◆来訪者



2019～2020年度ガバナー補佐 栄田 元信 様(諫早 RC)  
2020～2021年度ガバナー補佐 酒井 郁子 様(諫早南 RC)

#### 会長の時間

皆さん、こんにちは。6月、第2例会になります。少しずつ日常が戻ってきておりますが、以前とは違った社会環境にも少しずつ慣れる様にしていきたいと思います。

本日は、ロータリーの基本理念について少しでも話してみたいと思います。ロータリーの基本理念は、ロータリアン共通の目的や指針として、長い年月をかけて形づくられたものです。互いの関係や行動の土台として、世界中のロータリアンがこれらの理念を大切にしています。

その一つに、四つのテストがあります。ロータリアン



が生活や仕事の場面で常に覚えておくべき4つの問、それが「四つのテスト」です。政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100カ国語以上に翻訳されています。言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

まず、この「四つのテスト」は他人を判断するための道具ではない。と言う事です。論争の多い今日の社会では、政治的・社会的な議論で自分の支持を表明したり、誰かの考えや発言、行動を批判したりするために、ロータリアンが「四つのテスト」を利用することがあります。意見が対立する双方の会員が、互いに「四つのテスト」を使って自分の主張を裏付けたり、相手をおとしめたりすることもあります。ソーシャルメディアでも、「四つの

会 長／久保 泰正 幹 事／山口 大司 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日  
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907  
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323  
会報委員／草野 恵介・清水 淳・古賀 秀次・山本 健志・柏木 恒文  
HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/[info@isahaya-west.com](mailto:info@isahaya-west.com)

テスト」に背くと思われることについて意見し、そこにはほかの人が意見や侮辱を追加していくといった状況です。そうすることがロータリーに対する人びとの認識にどのような悪影響を与えるか、よく考えもしないでやっています。

そこで、みなさん、基本的にこう考えてみてください。「四つのテスト」は鏡であって、窓ではない。私たちは「四つのテスト」を通して他人を見るのではなく、自分自身の考え、意見、行動を考えるべきです。この「四つのテスト」は私たちが自分自身について判断するための鏡であって、他人を判断するための窓にしてはいけません。『ある考え、意見、行動が「四つのテスト」に背くと判断したら、それは間違っていると宣言するのがロータリアンの義務だ。』という話をする人がいます。また、さまざま話題において、ある意見を支持するために「四つのテスト」が引き合いに出されることがあります。さらにネットでは、あらゆる思想や概念を支持するために、大量のいわゆる“事実”で議論の足場を固めるということも行われています。

「四つのテスト」とはそういうものではないと思います。考えをどう評価するかということより、お互いにどのように接するかということと、「四つのテスト」は語っているのだと思います。もちろん、「四つのテスト」を守ることは簡単ではありません。「言行はこれに照らしてから」とあるように、自分がどのような考えをもっているか、大切なのは、その考えの下にどう行動するかということになります。

例えば、「この人は好きじゃない」という思いがある場合、そこでどう行動すべきか。私たちは、「この人が好きじゃない」という思いや、自分を気持ち満足させるため、その人に対して否定的な行動をしたいという欲求を払いのけることができます。気持ちとは反対に、相手を肯定する様な事を言ったり、ほかの人にその考えを伝えることもできます。

この点においてソーシャルメディアは物事を歪めてしまい、自分の考えに同調するコメントであれば、否定的で辛辣、または偽りであっても受け入れられてしまうのです。「四つのテスト」の名の下にそのようなコメントが投稿されたとしたら、それは明らかに公平ではなく、好意と友情を深めることなど絶対に不可能です。

そう考えると、政治的または社会的な物事について論じる時に「四つのテスト」を使うことは、それ自体がこのテストに背くことだと思うのです。人の見解に反対し、非難を浴びせながら、ある立場を支持するために「四つのテスト」を利用することなど決してあってはなりません。私たちは、すべての友人に「四つのテスト」についてよく学んでもらう必要があります。しかし説き伏せる必要は

ありません。

ロータリーは、非政治的、非宗教的な組織であることを自負しています。だからこそ、ロータリーは政府や宗教団体が踏み入ることができない領域でもポリオの撲滅活動などを推進する事が出来たのです。倫理的かつ道徳的な「四つのテスト」を武器に互いを傷つけ、ロータリーの評判を汚すことはやめたいものです。

以上で会長の時間を終わります。

## 幹事報告

例会変更及び休会なし

### 【お知らせ】

※太良嶽山金泉寺護持協賛会より

令和2年度会費納入依頼、事業報告・事業計画について

※ガバナーエレクト事務所より

次年度公式訪問時のタイムスケジュールについて

### 【ガバナー補佐挨拶】

2019-2020 年度ガバナー補佐



栄田 元信ガバナー補佐(諫早 RC)

1年間お疲れ様でした。お世話になりました。

2020-2021 年度ガバナー補佐



酒井 郁子次期ガバナー補佐(諫早南 RC)

次年度、1年間宜しく願い致します。



## 委員会報告



親睦活動委員会 南部 副委員長



## スマイルボックス



栄田 元信ガバナー補佐様（諫早 RC）：

1年間お世話になりました。ありがとうございます。

酒井 郁子様：次期ガバナー補佐として1年間お世話になります。宜しくお願いします。

久保 泰正君：皆さんこんにちは。本年度例会もあと2回を残すのみとなりました。次年度に引継が良くてできるように最後まで頑張りたいと思います。本日は、栄田ガバナー補佐、酒井次期ガバナー補佐のご来場を歓迎します。栄田ガバナー補佐、1年間お疲れ様でした。酒井次期ガバナー補佐、次年度は宜しくお願いします。

小野 秀喜君：栄田ガバナー補佐、1年間お疲れ様でした。次期ガバナー補佐、酒井さん、来期は宜しくお願いします。

高瀬 善久君：誕生日祝・結婚記念日祝ありがとうございます。

日高 正朗君：栄田ガバナー補佐様、酒井次期ガバナー補佐様の御来訪を歓迎致します。

荒木賢治郎君：前回の例会に出席できず、残念でありました。本日は皆さんの元気でさわやかな顔が拝見できてうれしいです。

友永 俊介君：今期も残りわずか！ニコニコも絶賛受付中です。良かった事も悪かった事もニコニコで気持ちスッキリ！来週も宜しくお願い致します。

江嶋 利満君：早退します。

小島 礼文君：早退します。

| 本日の合計(6/10) | 累計額        |
|-------------|------------|
| ¥30,000     | ¥1,279,000 |

## クラブフォーラム

今年度を省みて 各委員会



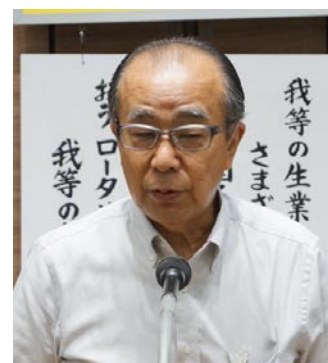
クラブ管理運営委員会  
野中 委員長



職業分類・会員選考委員会  
荒木 委員長



出席委員会  
平野 委員長



ロータリー情報委員会  
森 委員長



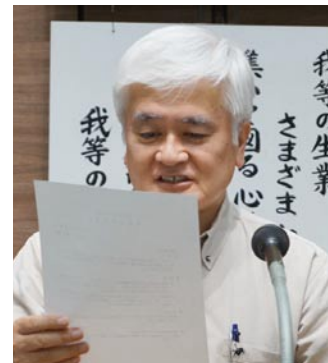
記録保存委員会  
平 委員長



SAA  
塚原 委員長



職業奉仕委員会  
高瀬 委員長



国際奉仕委員会  
原田 委員長



会員増強委員会  
毎熊 委員長



ロータリー財団委員会  
辻本 委員長

#### 【2020-2021 年度 RI 会長】



ホルガー・クナーク  
2020-21 年度会長(ドイツ)

1992年にロータリー入会。ロータリーの財務長、理事、モデレーター、各種委員会の委員や委員長、規定審議会代表議員、ゾーンコーディネーター、研修リーダー地区ガバナー、2019年ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会の共同委員長を歴任。現在は恒久基金／大口寄付アドバイザーを務める。不動産業を営む「Knaack KG」のCEO。125年続く家族事業の「Knaack Enterprises」の元パートナー兼ゼネラルマネージャー。地域社会では、ラッツェブルク市市民財団の創設メンバーであり、Gut Grambek ゴルフクラブの会長を務めた経験をもつ。カール・アダム財団の会長で創設者。スザンヌ夫人とともにメジャードナー、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援。

#### 【2020-2021 年度 RI 会長テーマ】



クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて2020-21 年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。ロータリーとは、クラブに入会するだけでなく、「無限の機会への招待」であるとクナーク氏は述べました。

7月1日に会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説しました。

「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる、クナーク氏は述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」



### ロータリーは機会の扉を開く

#### 未来のための変革

クナーク氏はさらに、ロータリーの発展のために変革を受け入れるよう会員に強く促しました。会員数を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能かつ有機的なかたちで成長できる方法を考えるよう求め、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであると述べました。

“この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです”